

**平成 27 年度 全国自治体病院協議会  
「医療の質の評価・公表等推進事業」  
結果報告**

平成 28 年 8 月  
豊橋市民病院

担当部署：事務局 医療情報課

## 医療の質の評価・公表等推進事業について

当院では、平成 26 年度より公益社団法人 全国自治体病院協議会（JMHA）が実施する「医療の質の評価・公表等推進事業」に参加しています。

この事業は、フィードバックされた指標から見えてきた問題点を病院全体で検討し改善策を実行することにより、さらに医療の質を向上させることを目的としています。ここで取扱う指標は、それぞれの病院の置かれている状況や地域における役割が異なるため数字だけをみて比較するものではなく、自治体病院の医療の質の維持・改善を目指していくためのものです。

当事業では指標の特色として、①地域（地域救急貢献率、地域分娩貢献率）、②パートナー（地域医療機関サポート率、精神科病院からの身体合併症受入患者数等）、③生活支援（在宅復帰率等）など選定し、一般病院は 22 指標で平成 26 年 7 月より 3 ヶ月ごとに継続的な臨床指標データの分析を行っていきます。（患者満足度調査は年に 1 度のみ）

平成 27 年度の当事業に当院のデータを提出し、集計結果がフィードバックされましたのでご報告いたします。

## 医療の質を測る指標（QI : Quality Indicator）の考え方

医療の質とは、「標準医療への準拠」つまり、根拠に基づいた医療（EBM : Evidence-based Medicine）をどの程度行っているかによって計測されます。医療の質は「医療のあるべき姿」を 3 つの視点、①構造（Structure）、②過程（Process）、③結果（Outcome）によって評価方法が体系化されています。QI とは、この考え方方に沿って医療の質を指標として表すものです。

3 つの視点を具体的に表すと下表のようになります。

① 構造（Structure）	施設・医療機器・医師数などの医療専門職の種類や人数などの医療提供体制を表す指標。
② 過程（Process）	提供している医療における診療行為や看護ケアについて標準医療やベンチマークとの比較によって評価する指標。例えば、肺血栓塞栓症の予防対策実施率や術後リハビリ実施率などがこれにあたる。 また、地域医療における一連の診療の過程で行われる紹介(率)などもこれに含まれる。
③ 結果（Outcome）	提供された医療の結果や治療成績などを評価する指標。例えば、在宅復帰率や患者満足度、平均在院日数などがこれにあたる。

全国自治体病院協議会の医療の質の評価・公表等推進事業は、地域医療における自治体病院の果たす役割を示す②過程（Process）と ③結果（Outcome）を中心に構成されています。

## 指標の見方

1. 当院の指標の値 : (参考) フィードバックデータの表内にある青色の箇所が当院の値になります。
2. 参加病院との比較 : 棒グラフ、または折れ線グラフ内の、青色の部分が当院のデータを表します。薄いグレーは参加病院全病院、濃いグレーは 600 床以上の病院との比較を表します。
3. パーセンタイル値とは : 参加病院の結果値を小さい順に並べ、どの辺りに位置するかを表します。  
25 パーセンタイル とは、下から 25% に位置する値のことをいいます。  
例えば、100 参加病院があったとすれば、上位 75 位を表します。

棒グラフの凡例	折れ線グラフの凡例
当院の値	当院の値
600 床未満の病院の値	全参加病院の 75 パーセンタイル値
600 床以上の病院の値	全参加病院の 50 パーセンタイル値 全参加病院の 25 パーセンタイル値 600 床以上の 75 パーセンタイル値 600 床以上の 50 パーセンタイル値 600 床以上の 25 パーセンタイル値

### «平成 27 年度参加行院病床数別内訳»

病床数別分類	参加施設数
600 床以上	29
500 床以上 600 床未満	25
400 床以上 500 床未満	27
300 床以上 400 床未満	36
200 床以上 300 床未満	24
200 床未満	20
合計	161

※ 当院は 820 床のため 600 床以上にあたります。

## 平成27年度 各指標定義結果目次

1 患者満足度調査 .....	1
1 - 1 入院患者満足度【01】 .....	1
1 - 2 外来患者満足度【02】 .....	2
2 紹介率・逆紹介率 .....	3
2 - 1 紹介率【03】 .....	3
2 - 2 逆紹介率【04】 .....	4
2 - 3 紹介率・逆紹介率（地域支援病院） .....	5
2 - 3-1 紹介率（地域支援病院）【05】 .....	5
2 - 3-2 逆紹介率（地域支援病院）【06】 .....	6
2 - 4 新入院患者紹介率【07】 .....	7
3 在宅復帰率【08】 .....	8
4 院内他科入院中の精神科診察依頼頻度【09】 .....	9
5 精神科病院入院からの身体疾患受入れ頻度【10】 .....	10
6 地域医療貢献率 .....	11
6 - 1 地域医療機関サポート率【11】 .....	11
6 - 2 地域分娩貢献率【12】 .....	12
6 - 3 地域救急貢献率【13】 .....	13
7 転倒・転落レベル2以上発生率【14】 .....	14
8 褥瘡推定発生率【15】 .....	15
9 クリニカルパス使用率 .....	16
9 - 1 クリニカルパス使用率（患者数）【16】 .....	16
9 - 2 クリニカルパス使用率（日数）【17】 .....	17
10 肺血栓塞栓症の予防対策実施率【18】 .....	18
11 脳梗塞入院1週間以内のリハビリ強度【19】 .....	19
12 急性期心筋梗塞14日以内院内死亡率【20】 .....	20
13 ステージI乳がん患者の乳房温存率【21】 .....	21
14 大腿骨地域連携パス使用率【22】 .....	22

※【OO】：指標 No.

## 1 患者満足度調査（分類：Outcome）

患者さんがどのように感じているかを把握し、その結果を反映していくことで、医療サービスの一層の充実を図るために実施しています。受けた治療の結果、入院期間、安全な治療に対する患者の満足度をみるとことは、医療の質を測るうえで直接的な評価指標の重要な一つです。引き続き、高い患者満足度を維持・向上できるように努めています。

### 1 -1 入院患者満足度【O1】

入院患者満足度は、入院中または退院時にアンケートを行った結果を集計し、当院の入院診療について総合的に満足しているかどうかを表す指標です。

＜指標の定義＞

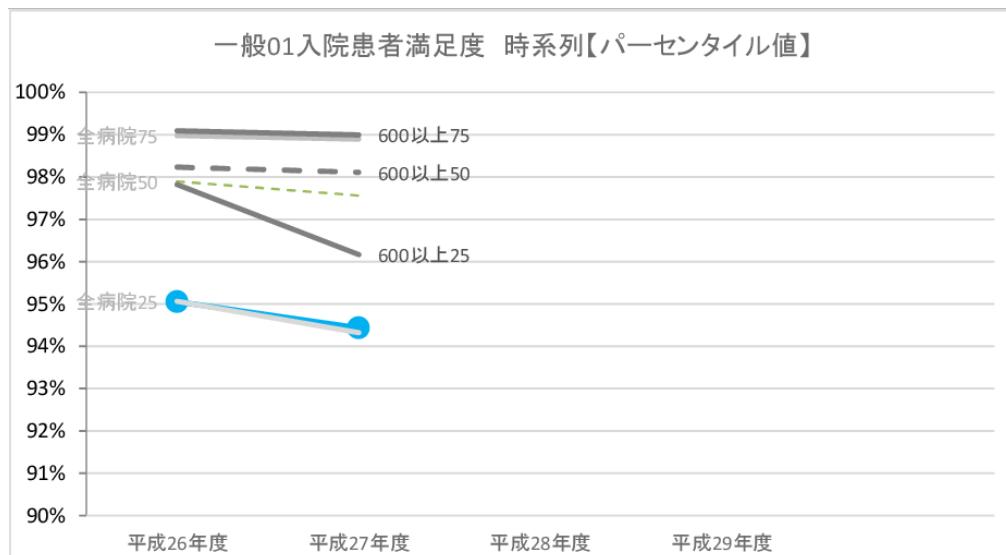
計算方法	分子：この病院の入院について総合的に「満足」または「ほぼ満足」していると回答した入院患者数
	分母：患者満足度調査に回答した入院患者数 ※「普通」「わからない」「未記入」については分母から除く 「普通」の除外は全国自治体病院協議会医療の質の調査・公表等推進事業の定義による
調査期間	平成 27 年 7 月 6 日 ~ 平成 26 年 7 月 22 日
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考) 「設問：総合的に考えて当院に満足されていますか？(入院)」

27年度 配布数：534人 回収数：472人 満足+ほぼ満足：424

実施年度	集計有効数	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
26年度	384	147	218	12	7
27年度	449	167	257	18	7

(参考) フィードバックデータ



貴院	数値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
全病院	25パーセンタイル	95.1%	94.4%	0.0%	0.0%			
	50パーセンタイル	97.9%	97.6%	0.0%	0.0%			
	75パーセンタイル	99.0%	98.9%	0.0%	0.0%			
600以上	25パーセンタイル	97.8%	96.2%	0.0%	0.0%			
	50パーセンタイル	98.2%	98.1%	0.0%	0.0%			
	75パーセンタイル	99.1%	99.0%	0.0%	0.0%			
全病院	平均値	95.2%	95.0%	0.0%	0.0%			
600以上	平均値	98.2%	96.4%	0.0%	0.0%			
全病院	登録数	95	119	0	0			
600以上	登録数	20	26	0	0			

## 1 -2 外来患者満足度【O2】

外来患者満足度は、外来受診時にアンケートを行った結果を集計し、当院の外来診療について総合的に満足しているかどうかを表す指標です。

＜指標の定義＞

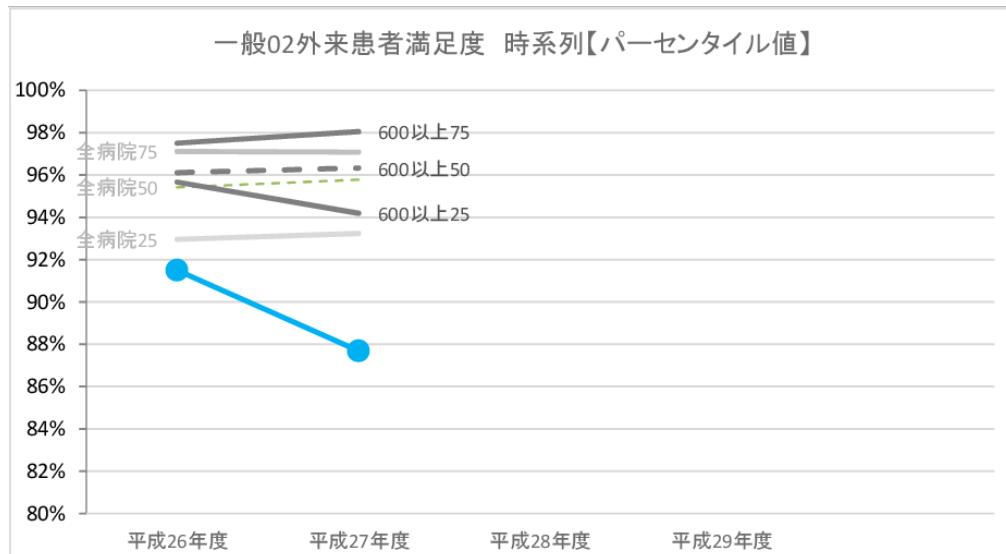
計算方法	分子：この病院の外来について総合的に「満足」または「ほぼ満足」していると回答した外来患者数
	分母：患者満足度調査に回答した外来患者数 ※「普通」「わからない」「未記入」については分母から除く 「普通」の除外は全国自治体病院協議会医療の質の調査・公表等推進事業の定義による
調査期間	平成27年7月6日～平成26年8月1日
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考)「設問：総合的に考えて当院に満足されていますか？(外来)」

27年度 配布数：2,000人 回収数：1,132人 満足+ほぼ満足：931

実施年度	集計有効数	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
26年度	717	209	447	43	18
27年度	1,063	281	650	96	35

(参考) フィードバックデータ



貴院	数値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
		91.5%	87.7%	0.0%	0.0%			
全病院	25パーセンタイル	93.0%	93.2%	0.0%	0.0%			
	50パーセンタイル	95.4%	95.8%	0.0%	0.0%			
	75パーセンタイル	97.1%	97.1%	0.0%	0.0%			
600以上	25パーセンタイル	95.7%	94.2%	0.0%	0.0%			
	50パーセンタイル	96.1%	96.3%	0.0%	0.0%			
	75パーセンタイル	97.5%	98.0%	0.0%	0.0%			
全病院	平均値	94.5%	94.6%	0.0%	0.0%			
600以上	平均値	96.1%	95.2%	0.0%	0.0%			
全病院	登録数	91	118	0	0			
600以上	登録数	20	26	0	0			

## 2 紹介率・逆紹介率（分類：Process）

紹介率とは、初診患者に対し、他の医療機関から紹介されて来院した患者の割合です。一方、逆紹介率とは、初診患者に対し、他の医療機関へ紹介した患者の割合です。高度な医療を提供する医療機関にだけ患者が集中することを避け、症状が軽い場合は「かかりつけ医」を受診し、そこで必要性があると判断された場合に高い機能を持つ病院へ紹介受診します。そして治療を終え症状が落ち着いたら、「かかりつけ医」へ紹介し、治療を継続または経過の観察を行います。これを地域全体として行うことで、地域の医療連携を強化し、切れ間のない医療の提供を行います。つまり、紹介率・逆紹介率の数値は、地域の医療機関との連携の度合いを示しています。

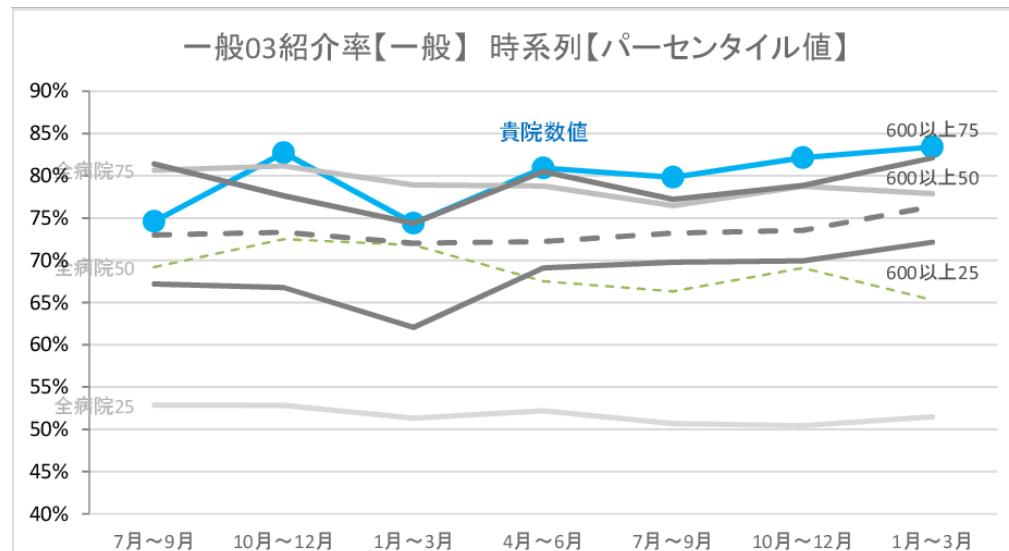
### 2 -1 紹介率【03】

＜指標の定義＞

計算方法	分子：紹介初診患者数 + 救急初診患者数（初診かつ休日または夜間）
	分母：初診患者数
集計期間	4期：平成27年4月～6月、5期：平成27年7月～9月、6期：平成26年10月～12月、7期：平成27年1月～3月
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考) 当院詳細数値		1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
分子	紹介初診患者	4,510	4,091	4,155	4,454	4,600	4,431	4,400
	救急初診患者	4,271	4,683	4,750	4,516	4,589	4,371	4,641
分母	初 診 患 者	11,771	10,608	11,101	11,088	11,511	10,717	10,840

(参考) フィードバックデータ



貴院	数値	平成26年		平成27年				平成28年	
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
全病院	25パーセンタイル	52.9%	52.8%	51.3%	52.2%	50.7%	50.4%	51.5%	
	50パーセンタイル	69.2%	72.5%	71.8%	67.5%	66.3%	69.1%	65.3%	
	75パーセンタイル	80.7%	81.2%	78.9%	78.8%	76.5%	78.8%	77.9%	
600以上	25パーセンタイル	67.2%	66.8%	62.1%	69.1%	69.8%	69.9%	72.1%	
	50パーセンタイル	73.0%	73.3%	72.0%	72.2%	73.2%	73.5%	76.4%	
	75パーセンタイル	81.4%	77.6%	74.4%	80.5%	77.2%	78.9%	82.1%	
全病院	平均値	68.1%	68.9%	66.9%	64.4%	63.4%	64.5%	64.8%	
600以上	平均値	71.1%	71.0%	69.4%	71.4%	71.3%	71.6%	73.1%	
全病院	登録数	107	108	106	152	150	152	134	
600以上	登録数	22	22	21	29	28	29	25	

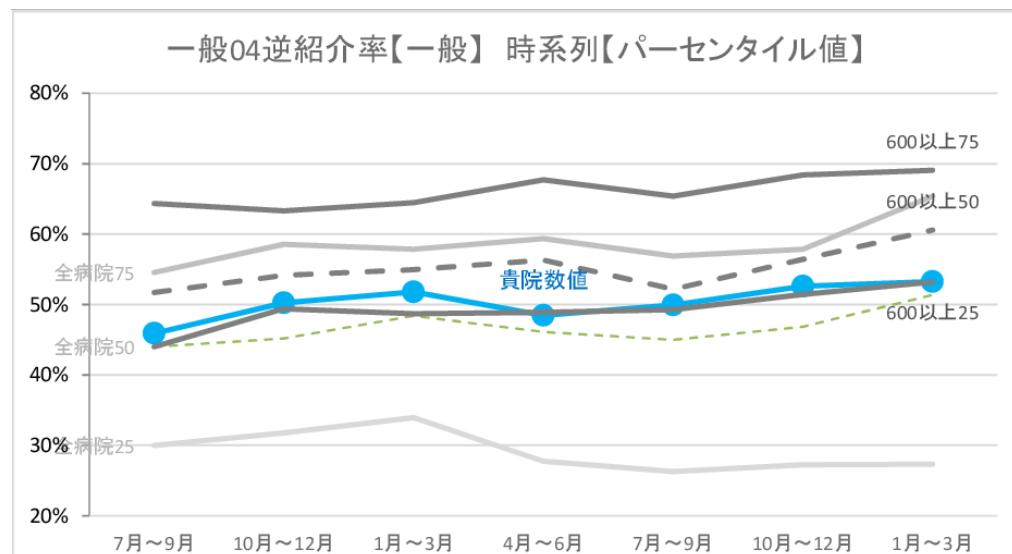
## 2 -2 逆紹介率【04】

<指標の定義>

計算方法	分子：逆紹介患者数
	分母：初診患者数
集計期間	4期：平成27年4月～6月、5期：平成27年7月～9月、6期：平成26年10月～12月、7期：平成27年1月～3月
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考) 当院詳細数値		1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
分子	逆紹介患者	5,399	5,328	5,748	5,373	5,747	5,635	5,771
分母	初 診 患 者	11,771	10,608	11,101	11,088	11,511	10,717	10,840

(参考) フィードバックデータ



貴院	数値	平成26年				平成27年				平成28年			
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月
全病院	25パーセンタイル	30.0%	31.8%	33.9%	27.7%	26.3%	27.2%	27.3%					
	50パーセンタイル	44.0%	45.2%	48.4%	46.1%	45.0%	46.8%	51.4%					
	75パーセンタイル	54.5%	58.6%	57.8%	59.4%	56.9%	57.9%	65.4%					
600以上	25パーセンタイル	44.0%	49.4%	48.7%	48.9%	49.3%	51.4%	53.2%					
	50パーセンタイル	51.7%	54.1%	54.9%	56.3%	52.2%	56.4%	60.6%					
	75パーセンタイル	64.3%	63.3%	64.5%	67.7%	65.4%	68.4%	69.0%					
全病院	平均値	45.9%	47.1%	48.1%	44.7%	43.5%	45.4%	48.2%					
600以上	平均値	55.7%	59.3%	59.5%	59.2%	57.2%	59.2%	61.9%					
全病院	登録数	107	107	107	152	150	153	135					
600以上	登録数	21	21	22	29	29	29	26					

## 2 -3 紹介率・逆紹介率（地域医療支援病院）

地域医療支援病院とは法律（医療法）で定められた、紹介患者さんや救急医療などを担う病院のことをいいます。紹介率・逆紹介率（地域支援病院）は、救急、時間外初診などを除いた初診患者を分母とし、分子を医療機関外、豊橋市が開設する他の医療機関からの紹介を除外したものとしており、地域支援病院としての役割（地域のかかりつけ医などへの支援）の大きさをより重視した指標となっています。

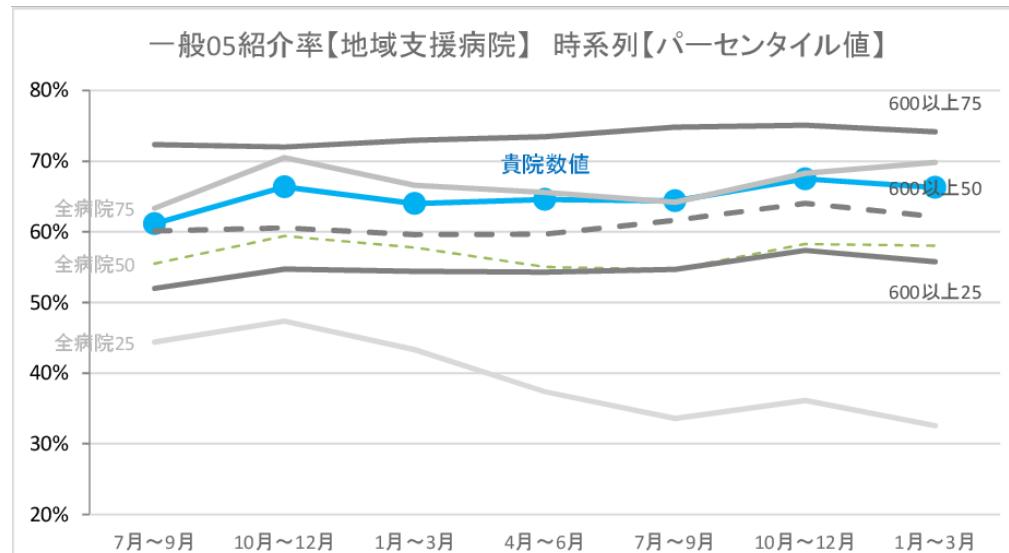
### 2 -3-1 紹介率（地域医療支援病院）【05】

＜指標の定義＞

計算方法	分子：紹介初診患者数 ※ 医療機関以外、豊橋市こども発達センターからの紹介は除く
	分母：初診患者数 ※ 初診救急搬送患者、初診休日夜間救急患者、自覚症状なく健診目的で受診したが疾患が発見され治療を開始した初診の患者を除く
集計期間	4期：平成27年4月～6月、5期：平成27年7月～9月、6期：平成26年10月～12月、7期：平成27年1月～3月
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考) 当院詳細数値		1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
分子	紹介初診患者	4,437	4,044	4,116	4,415	4,548	4,383	4,235
分母	初 診 患 者	7,257	6,096	6,434	6,839	7,065	6,495	6,389

(参考) フィードバックデータ



貴院	数値	平成26年				平成27年				平成28年			
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月
全病院	25パーセンタイル	44.4%	47.3%	43.3%	37.4%	33.6%	36.1%	32.6%	30.8%	29.1%	28.5%	27.9%	27.3%
	50パーセンタイル	55.5%	59.4%	57.8%	55.0%	54.7%	58.3%	58.0%	57.7%	57.4%	57.1%	56.8%	56.5%
	75パーセンタイル	63.3%	70.5%	66.6%	65.6%	64.2%	68.3%	69.8%	68.8%	68.0%	67.3%	66.6%	66.0%
600以上	25パーセンタイル	52.0%	54.7%	54.4%	54.3%	54.7%	57.4%	55.8%	55.3%	55.0%	54.7%	54.4%	54.1%
	50パーセンタイル	60.1%	60.5%	59.6%	59.7%	61.6%	64.0%	62.1%	61.8%	61.5%	61.2%	60.9%	60.6%
	75パーセンタイル	72.4%	72.0%	72.9%	73.5%	74.8%	75.1%	74.2%	73.8%	73.5%	73.2%	72.9%	72.6%
全病院	平均値	53.6%	58.2%	54.1%	52.9%	51.6%	53.8%	53.0%	52.3%	51.6%	51.3%	50.8%	50.5%
	登録数	79	78	77	113	110	112	96	113	110	112	96	94
600以上	平均値	62.6%	64.0%	60.0%	64.0%	63.5%	65.1%	65.1%	64.7%	64.4%	64.1%	63.8%	63.5%
	登録数	20	20	20	26	26	26	23	26	26	26	23	22

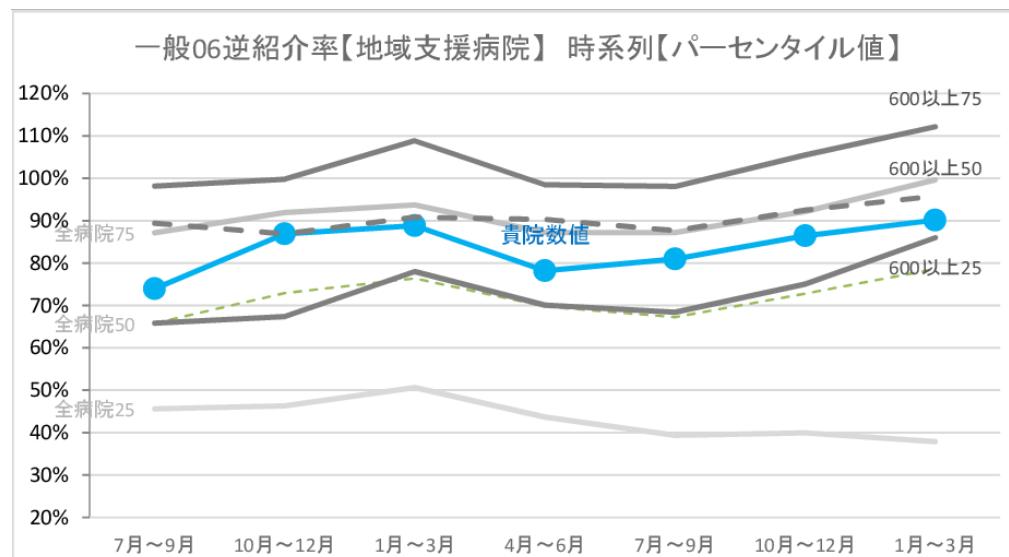
## 2 -3-2 逆紹介率（地域医療支援病院）【06】

<指標の定義>

計算方法	分子：逆紹介患者数 ※ 医療機関以外、豊橋市こども発達センターからの紹介は除く
	分母：初診患者数 ※ 初診救急搬送患者、初診休日夜間救急患者、自覚症状なく健診目的で受診したが疾患が発見され治療を開始した初診の患者を除く
集計期間	4期：平成27年4月～6月、5期：平成27年7月～9月、6期：平成26年10月～12月、7期：平成27年1月～3月
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考) 当院詳細数値		1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
分子	逆紹介患者	5,364	5,296	5,714	5,347	5,717	5,613	5,758
分母	初 診 患 者	7,257	6,096	6,434	6,839	7,065	6,495	6,389

(参考) フィードバックデータ



貴院	数値	平成26年			平成27年			平成28年	
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
全病院	25パーセンタイル	45.6%	46.3%	50.6%	43.6%	39.3%	39.9%	37.9%	
	50パーセンタイル	65.8%	72.9%	76.4%	69.7%	67.2%	72.8%	78.6%	
	75パーセンタイル	87.1%	91.9%	93.7%	87.2%	87.2%	92.2%	99.6%	
600以上	25パーセンタイル	65.8%	67.3%	78.0%	70.0%	68.4%	75.0%	86.0%	
	50パーセンタイル	89.4%	86.9%	90.8%	90.3%	87.7%	92.5%	95.8%	
	75パーセンタイル	98.1%	99.8%	108.8%	98.5%	98.1%	105.5%	112.2%	
全病院	平均値	66.7%	71.6%	75.4%	66.1%	64.5%	68.0%	71.6%	
600以上	平均値	82.1%	82.6%	90.8%	85.7%	84.6%	88.7%	93.5%	
全病院	登録数	76	79	81	117	112	116	94	
600以上	登録数	20	21	21	26	25	26	22	

## 2 -4 新入院患者紹介率【O7】

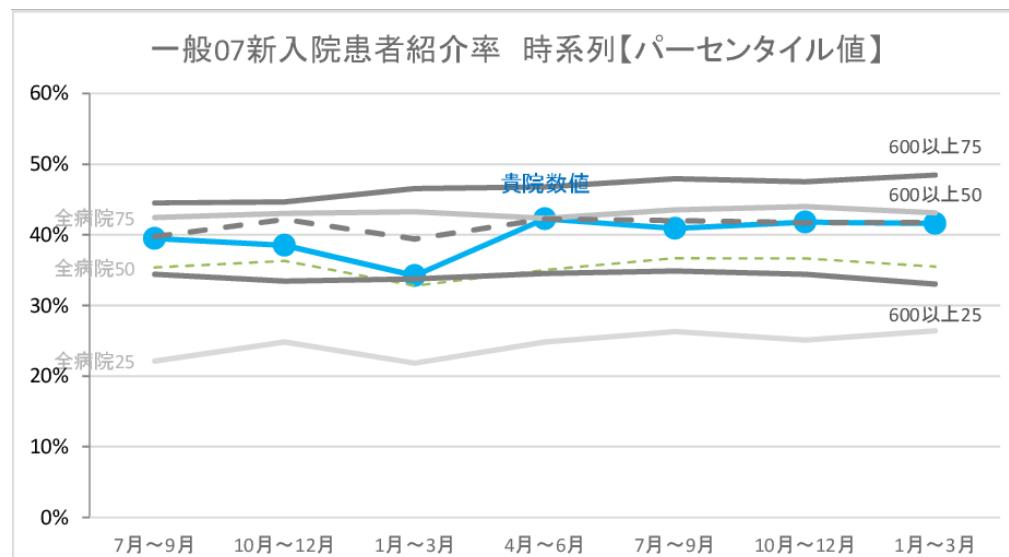
新入院患者紹介率は、新規に入院となった患者さんのうち紹介を受けて入院となった患者さんがどれだけの割合であったかを示します。

＜指標の定義＞

計算方法	分子：新入院患者紹介数（入院90日以内に紹介を受けた患者）
	分母：新入院患者数
集計期間	4期：平成27年4月～6月、5期：平成27年7月～9月、6期：平成26年10月～12月、7期：平成27年1月～3月
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考) 当院詳細数値		1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
分子	新入院患者紹介	1,855	1,799	1,685	2,070	2,066	1,987	2,060
分母	新入院患者	4,700	4,672	4,926	4,901	5,053	4,755	4,952

(参考) フィードバックデータ



貴院	数値	平成26年			平成27年			平成28年	
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
全病院	25パーセンタイル	22.1%	24.8%	21.8%	24.8%	26.3%	25.1%	26.4%	
	50パーセンタイル	35.4%	36.3%	32.8%	35.0%	36.7%	36.7%	35.5%	
	75パーセンタイル	42.5%	43.0%	43.3%	42.3%	43.5%	44.0%	43.1%	
600以上	25パーセンタイル	34.4%	33.4%	33.8%	34.5%	34.9%	34.4%	33.0%	
	50パーセンタイル	39.7%	42.2%	39.4%	42.2%	42.0%	41.7%	41.8%	
	75パーセンタイル	44.5%	44.7%	46.5%	46.8%	47.9%	47.5%	48.5%	
全病院	平均値	33.3%	34.6%	32.4%	33.8%	34.7%	34.5%	35.1%	
600以上	平均値	38.7%	39.8%	38.7%	38.9%	40.2%	40.9%	39.6%	
全病院	登録数	89	89	90	124	124	126	115	
600以上	登録数	20	21	20	25	26	26	24	

### 3 在宅復帰率【08】(分類: Outcome)

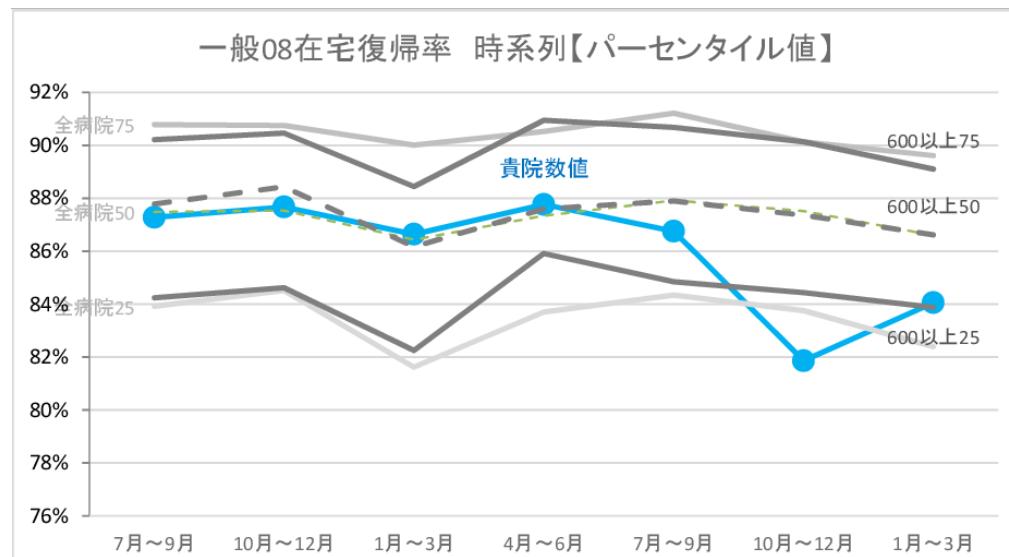
治療が一段落し退院する患者さんのうち、退院先が自宅または福祉施設等の割合を示します。

<指標の定義>

計算方法	分子 : 退院先が自宅等の患者数 ※ 退院後外来通院（自院・他院問わず）、家庭への退院、介護老人福祉施設・社会福祉施設・有料老人ホームへの退院がこれにあたる
	分母 : 退院患者数
集計期間	4期：平成27年4月～6月、5期：平成27年7月～9月、6期：平成26年10月～12月、7期：平成27年1月～3月
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考) 当院詳細数値		1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
分子	退院先が自宅等	4,082	4,266	4,090	4,289	4,412	4,057	4,010
分母	退院患者	4,677	4,866	4,721	4,887	5,086	4,956	4,771

(参考) フィードバックデータ



貴院	数値	平成26年		平成27年				平成28年	
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
全病院	25パーセンタイル	83.9%	84.5%	81.6%	83.7%	84.3%	83.7%	82.4%	
	50パーセンタイル	87.5%	87.5%	86.4%	87.3%	87.9%	87.5%	86.6%	
	75パーセンタイル	90.8%	90.7%	90.0%	90.5%	91.2%	90.1%	89.6%	
600以上	25パーセンタイル	84.2%	84.6%	82.2%	85.9%	84.8%	84.4%	83.9%	
	50パーセンタイル	87.8%	88.4%	86.2%	87.6%	87.9%	87.4%	86.6%	
	75パーセンタイル	90.2%	90.5%	88.4%	90.9%	90.7%	90.1%	89.1%	
全病院	平均値	85.8%	86.1%	83.6%	86.2%	86.6%	85.9%	84.9%	
600以上	平均値	85.9%	86.5%	82.4%	87.1%	86.7%	85.7%	85.3%	
全病院	登録数	108	106	108	150	151	153	133	
600以上	登録数	22	22	22	29	29	29	24	

#### 4 院内他科入院中の精神科診察依頼頻度【09】(分類: Process)

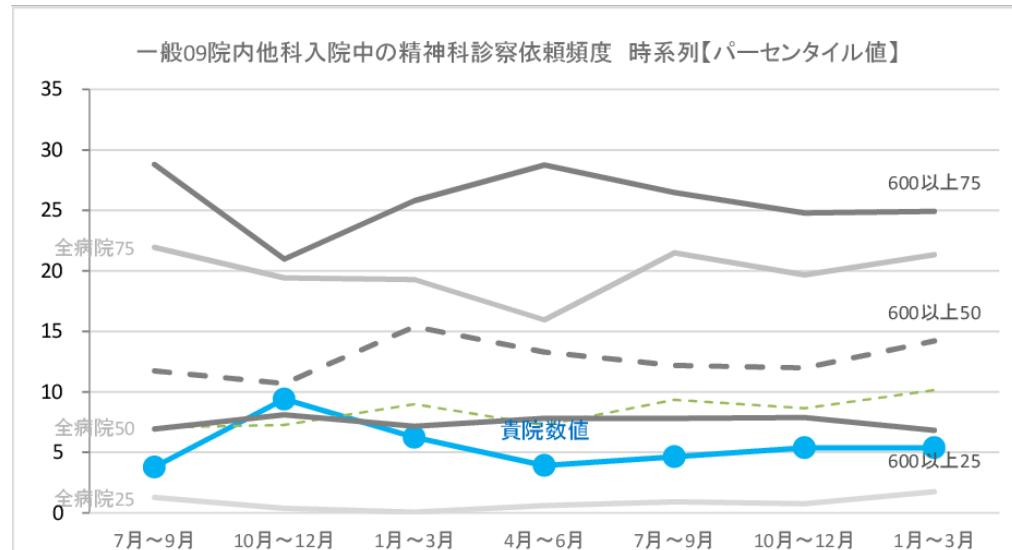
入院中の患者さんが精神的な問題を抱えていた場合、状況により主治医が対応したり、精神科の専門的な対応が必要な場合には精神科医師が対応します。当院では非常勤精神科医師が対応を行います。この指標の値が高いほど患者さんを多角的に診療していることを表しています。病床 100 床のうち何件の頻度で対応を行っているかを測り指標としています。

<指標の定義>

計算方法	分子 : 院内他科入院中の患者で精神科診察の依頼を行った件数
	分母 : 100 病床あたりの病床数 (当院は 820 床のため 8.2)
集計期間	4 期: 平成 27 年 4 月～6 月, 5 期: 平成 27 年 7 月～9 月, 6 期: 平成 26 年 10 月～12 月, 7 期: 平成 27 年 1 月～3 月
値の解釈	精神的な問題が発生した場合に専門的な対応がされている目安

(参考) 当院詳細数値		1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
分子	依頼件数	59	77	51	32	38	44	44
分母	100 病床あたり	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2

(参考) フィードバックデータ



責任院	数値	平成26年		平成27年				平成28年	
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
全病院	25パーセンタイル	1.3	0.4	0.0	0.6	0.9	0.7	1.7	
	50パーセンタイル	7.0	7.3	9.0	7.2	9.3	8.6	10.1	
	75パーセンタイル	21.9	19.4	19.3	15.9	21.5	19.7	21.3	
600以上	25パーセンタイル	6.9	8.1	7.1	7.8	7.8	7.9	6.8	
	50パーセンタイル	11.7	10.7	15.4	13.3	12.2	12.0	14.2	
	75パーセンタイル	28.8	21.0	25.8	28.8	26.5	24.8	24.9	
全病院	平均値	19.8	16.0	21.5	19.6	23.8	20.8	24.4	
600以上	平均値	23.0	21.8	32.6	31.1	30.0	30.0	32.9	
全病院	登録数	90	91	90	127	123	124	111	
600以上	登録数	22	22	22	27	27	27	24	

## 5 精神科病院入院からの身体疾患受入れ頻度【10】(分類: Process)

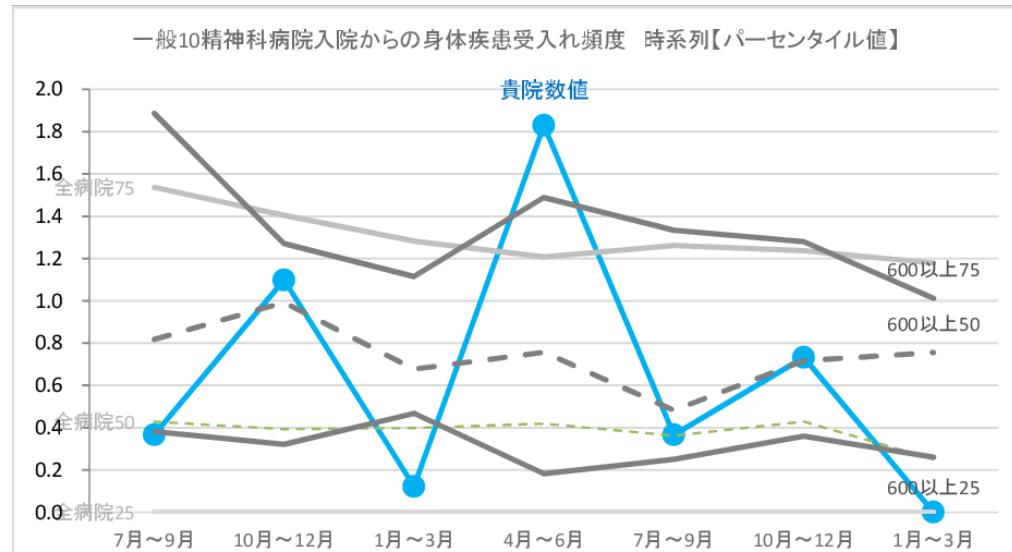
精神科病院に入院している患者さんが、がん、心筋梗塞、脳梗塞、糖尿病の悪化、外傷、虫垂炎などを合併した場合、専門の診療科での治療が必要となり、総合病院などへ転院が必要になることがあります。これらの受入れを病床100床のうち何件の頻度で発生しているかを測り指標としています。

<指標の定義>

計算方法	分子 : 紹介患者のうち、精神科病院で入院していた患者で身体疾患により転院してきた患者数
	分母 : 100病床あたりの病床数
集計期間	4期:平成27年4月~6月, 5期:平成27年7月~9月, 6期:平成26年10月~12月, 7期:平成27年1月~3月
値の解釈	精神科病院との連携の度合いを示す

(参考) 当院詳細数値		1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
分子	紹介件数	3	9	1	15	3	6	0
分母	100病床あたり	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2

(参考) フィードバックデータ



貴院	数値	平成26年		平成27年					平成28年		
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	7月～9月	10月～12月	
全病院	25パーセンタイル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50パーセンタイル	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3
	75パーセンタイル	1.5	1.4	1.3	1.2	1.3	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
600以上	25パーセンタイル	0.4	0.3	0.5	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3
	50パーセンタイル	0.8	1.0	0.7	0.8	0.5	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8
	75パーセンタイル	1.9	1.3	1.1	1.5	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.0
全病院	平均値	1.1	1.0	0.9	1.0	1.1	1.4	1.2			
600以上	平均値	1.3	1.0	0.9	1.0	0.9	1.3	0.8			
全病院	登録数	86	88	88	126	125	127	116			
600以上	登録数	22	22	22	28	28	28	25			

## 6 地域医療貢献率（分類：Process）

地域医療貢献率とは、二次医療圏（東三河南部医療圏：豊橋市・豊川市・蒲郡市・田原市）内における役割の大きさを表します。

### 6 - 1 地域医療機関サポート率【11】

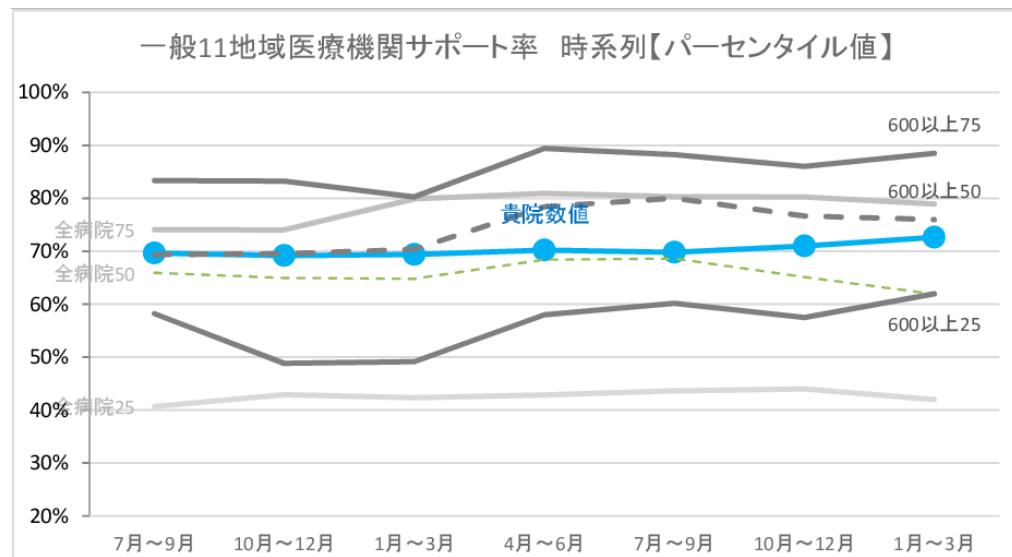
二次医療圏における連携の広さを表します。二次医療圏内の医科の医療機関から、当院への転院が望ましいと判断され紹介を受けた医療機関の数の割合を示します。

＜指標の定義＞

計算方法	分子	紹介を受けた二次医療圏内の医科医療機関数
	分母	二次医療圏内の医科医療機関数
集計期間	4期：平成27年4月～6月、5期：平成27年7月～9月、6期：平成26年10月～12月、7期：平成27年1月～3月	
値の解釈	より高い値が望ましい	

(参考) 当院詳細数値		1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
分子	紹介を受けた医療機関	344	343	342	346	344	350	358
分母	圏内医療機関数	494	496	493	493	493	493	493

(参考) フィードバックデータ



	貴院	平成26年		平成27年					平成28年	
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	7月～9月	10月～12月
全病院	数値	69.6%	69.2%	69.4%	70.2%	69.8%	71.0%	72.6%		
	25パーセンタイル	40.6%	42.9%	42.3%	42.8%	43.6%	44.0%	42.0%		
	50パーセンタイル	65.9%	64.9%	64.8%	68.4%	68.6%	65.1%	61.9%		
600以上	25パーセンタイル	58.2%	48.8%	49.1%	58.0%	60.2%	57.5%	62.0%		
	50パーセンタイル	69.3%	69.5%	70.3%	78.4%	80.0%	76.6%	76.0%		
	75パーセンタイル	83.3%	83.2%	80.3%	89.4%	88.3%	86.0%	88.5%		
全病院	平均値	58.0%	59.0%	59.7%	61.2%	61.9%	60.5%	59.9%		
600以上	平均値	68.0%	67.1%	67.0%	73.1%	73.0%	72.0%	73.6%		
全病院	登録数	85	86	87	124	124	125	114		
600以上	登録数	19	20	20	26	26	26	24		

## 6 -2 地域分娩貢献率【12】

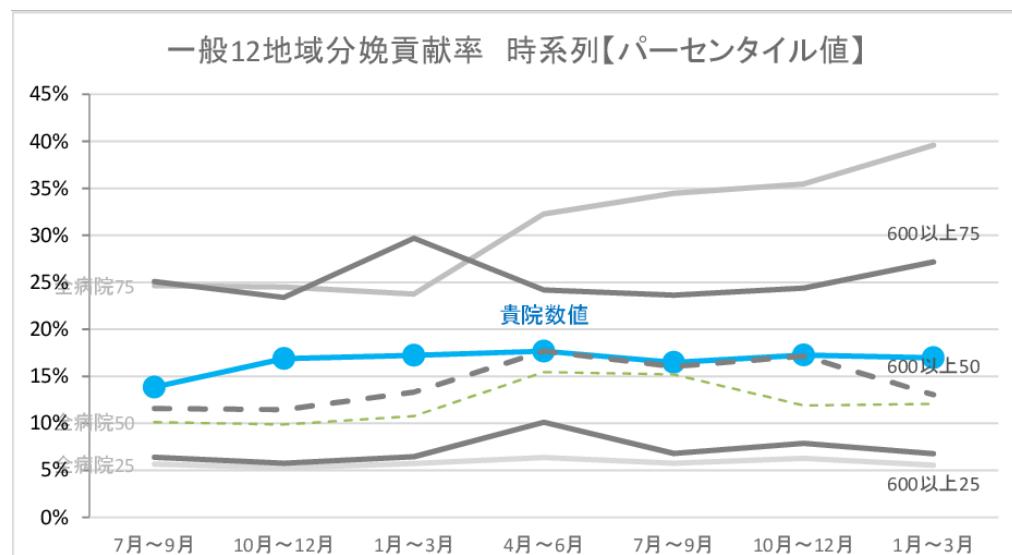
二次医療圏内で生まれた新生児のうち、当院での出生の割合を表します。

<指標の定義>

計算方法	分子：院内出生数
	分母：二次医療圏内の総出生数
集計期間	4期：平成27年4月～6月、5期：平成27年7月～9月、6期：平成26年10月～12月、7期：平成27年1月～3月
値の解釈	地域の分娩における役割の大きさを示す

(参考) 当院詳細数値		1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
分子	院内出生数	214	256	267	270	259	244	262
分母	圏内総出生数	1,546	1,516	1,551	1,528	1,572	1,415	1,545

(参考) フィードバックデータ



貴院	数値	平成26年		平成27年				平成28年	
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
全病院	25パーセンタイル	5.7%	5.2%	5.7%	6.4%	5.7%	6.3%	5.6%	
	50パーセンタイル	10.1%	9.9%	10.8%	15.4%	15.2%	11.9%	12.1%	
	75パーセンタイル	24.6%	24.5%	23.7%	32.3%	34.5%	35.5%	39.6%	
600以上	25パーセンタイル	6.4%	5.7%	6.4%	10.1%	6.8%	7.9%	6.8%	
	50パーセンタイル	11.6%	11.4%	13.3%	17.7%	16.0%	17.1%	13.0%	
	75パーセンタイル	25.1%	23.4%	29.7%	24.2%	23.6%	24.4%	27.2%	
全病院	平均値	20.1%	20.7%	20.2%	26.4%	26.6%	26.6%	26.4%	
600以上	平均値	20.7%	22.0%	21.6%	21.2%	19.7%	20.6%	21.5%	
全病院	登録数	63	65	64	96	94	96	75	
600以上	登録数	17	16	16	23	24	24	18	

### 6 -3 地域救急貢献率【13】

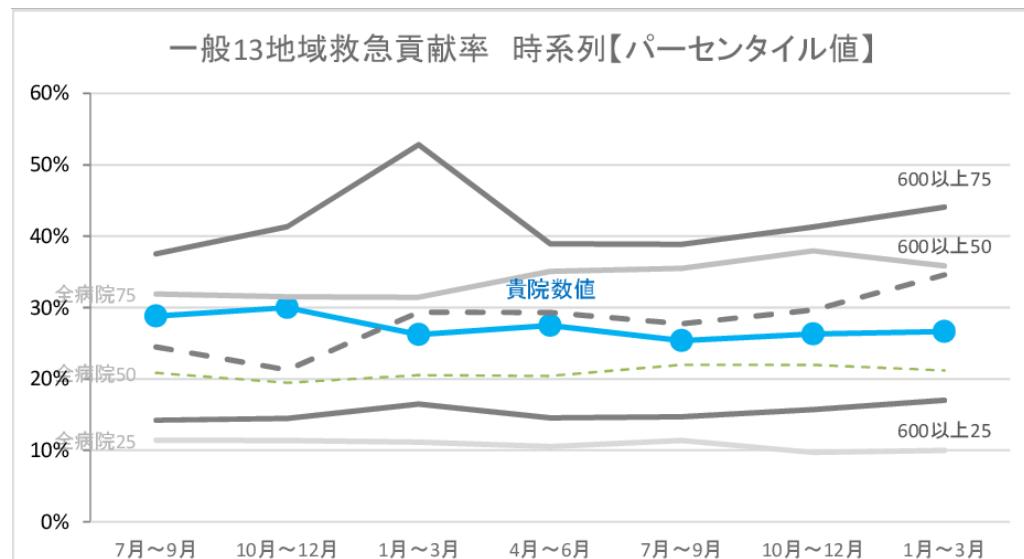
二次医療圏内で救急搬送された患者が当院へ搬送される割合を表します。

<指標の定義>

計算方法	分子： 救急搬送来院患者数
	分母： 二次医療圏内の総救急搬送人数
集計期間	4期：平成27年4月～6月, 5期：平成27年7月～9月, 6期：平成26年10月～12月, 7期：平成27年1月～3月
値の解釈	地域の救急医療における役割の大きさを示す

(参考) 当院詳細数値		1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
分子	救急搬送来院数	1,824	1,755	1,721	1,631	1,714	1,645	1,721
分母	圏内救急搬送人数	6,335	5,853	6,570	5,934	6,761	6,255	6,464

(参考) フィードバックデータ



貴院	数値	平成26年		平成27年				平成28年	
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	1月～3月
全病院	25/パーセンタイル	11.4%	11.4%	11.1%	10.5%	11.4%	9.7%	10.0%	
	50/パーセンタイル	20.8%	19.5%	20.5%	20.4%	22.0%	22.0%	21.2%	
	75/パーセンタイル	31.9%	31.5%	31.4%	35.1%	35.5%	37.9%	35.9%	
600以上	25/パーセンタイル	14.2%	14.5%	16.5%	14.5%	14.7%	15.7%	17.0%	
	50/パーセンタイル	24.5%	21.3%	29.4%	29.3%	27.7%	29.6%	34.6%	
	75/パーセンタイル	37.5%	41.3%	52.8%	38.9%	38.9%	41.3%	44.1%	
全病院	平均値	25.0%	25.5%	26.8%	27.6%	27.6%	28.2%	26.1%	
600以上	平均値	30.8%	32.7%	39.0%	32.1%	28.8%	33.3%	36.9%	
全病院	登録数	85	75	71	109	109	113	96	
600以上	登録数	20	17	17	25	24	24	20	

## 7 転倒・転落レベル2以上発生率【14】(分類: Outcome)

入院中の患者の転倒やベッドからの転落は少なくありません。原因としては、入院という環境の変化によるものや疾患そのもの、治療・手術などによる身体的なものなど様々なものがあります。転倒・転落の発生率、損傷発生率の両者を追跡するとともに、それらの事例を分析することで予防策を実施し、リスクを低減していく取り組みにつなげていきます。

転倒・転落の損傷レベルについては、「The Joint Commission」の定義を使用しています。

### <損傷レベル>

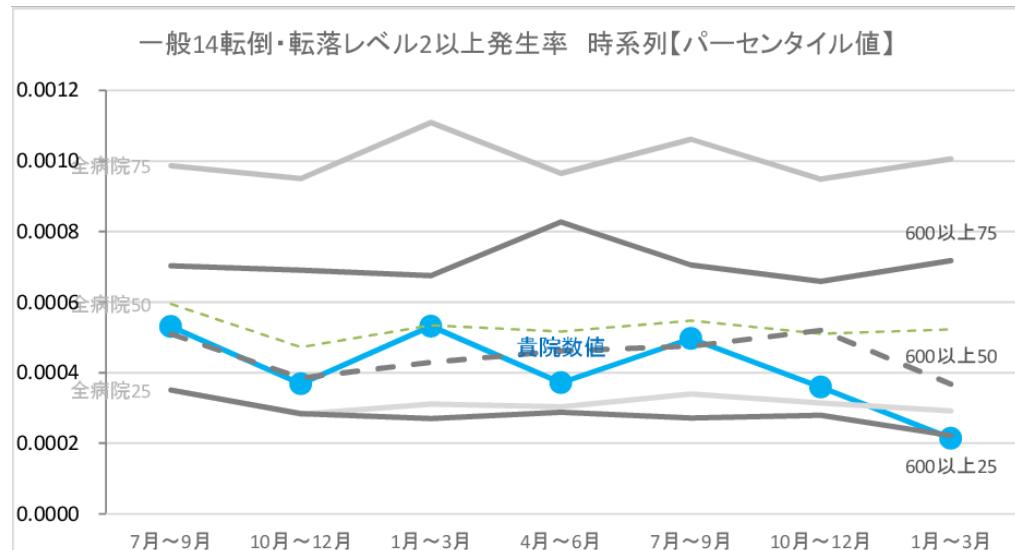
- |       |  |
|-------|--|
| 1：なし  | 患者に損傷はなかった                                       |
| 2：軽度  | 包帯、氷、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた            |
| 3：中度  | 縫合、ステリー・皮膚接着剤、副子が必要となった、または筋肉・関節の挫傷を招いた          |
| 4：重度  | ギブス、牽引、骨折を招いた・必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷のため診察が必要となった |
| 5：死亡  | 転倒による損傷の結果、患者が死亡した                               |
| 6：UTD | 記録からは判定不可能                                       |

### <指標の定義>

計算方法	分子 : 転倒・転落レベル2以上発生件数
	分母 : 入院延べ日数
集計期間	4期:平成27年4月~6月, 5期:平成27年7月~9月, 6期:平成26年10月~12月, 7期:平成27年1月~3月
値の解釈	より低い値が望ましい

(参考) 当院詳細数値		1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
分子	レベル2以上	34	34	35	24	32	23	14
分母	入院延べ日数	64,058	65,261	65,843	64,694	64,490	64,079	65,472

### (参考) フィードバックデータ



貴院	数値	平成26年			平成27年			平成28年	
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	7月～9月
全病院	25パーセンタイル	0.00035	0.00028	0.00031	0.00030	0.00034	0.00031	0.00029	0.00031
	50パーセンタイル	0.00059	0.00047	0.00053	0.00052	0.00055	0.00051	0.00052	0.00051
	75パーセンタイル	0.00099	0.00095	0.00111	0.00096	0.00106	0.00095	0.00101	0.00095
600以上	25パーセンタイル	0.00035	0.00028	0.00027	0.00029	0.00027	0.00028	0.00022	0.00022
	50パーセンタイル	0.00051	0.00039	0.00043	0.00046	0.00047	0.00052	0.00037	0.00052
	75パーセンタイル	0.00070	0.00069	0.00068	0.00083	0.00071	0.00066	0.00072	0.00066
全病院	平均値	0.00083	0.00068	0.00082	0.00081	0.00084	0.00074	0.00074	0.00074
	600以上	0.00066	0.00056	0.00057	0.00062	0.00061	0.00061	0.00058	0.00058
全病院	登録数	105	107	107	153	151	152	136	136
	600以上	20	22	22	29	29	29	27	27

## 8 褥瘡推定発生率【15】(分類: Outcome)

褥瘡は、看護ケアの質評価の重要な指標の1つとなっています。褥瘡は患者の生活機能が保たれず、人間らしい生活を続けられるQOL (Quality of Life)の低下をきたすとともに、感染を引き起こすなど治療が長期に及ぶことによって、結果的に在院日数の長期化や医療費の増大にもつながります。そのため、褥瘡予防対策は、提供する医療の重要な項目の1つにとらえられ、1998年からは診療報酬にも反映されています。

褥瘡の深さについては、日本褥瘡学会の DESIGN-R (2008年改訂版褥瘡経過評価用) と International NPUAP-EPUAP Pressure Ulcer Guidelines を用いています。

### <褥瘡 Depth 深さ>

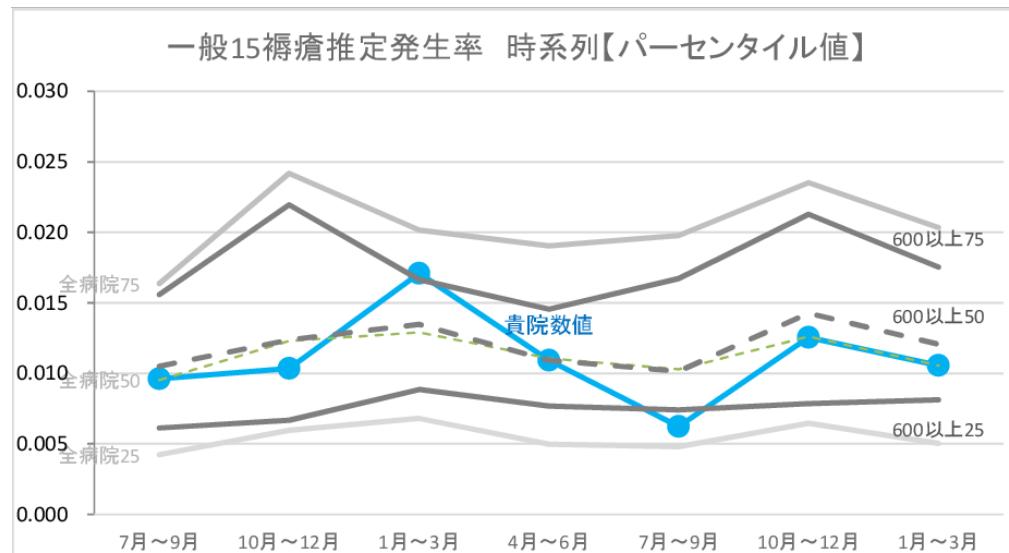
d0 : 皮膚損傷・発赤なし	D3 : 皮下組織までの損傷	DU : 深さ判定が不能の場合
d1 : 持続する発赤	D4 : 皮下組織を超える損傷	
d2 : 関節腔、体腔に至る損傷	D5 : 関節腔、体腔に至る損傷	

### <指標の定義>

計算方法	分子	入院時に褥瘡がなく、調査日に褥瘡を新規に保有する患者数 + 入院時に褥瘡があり、他部位に褥瘡が発生した患者数
	分母	調査日の在院患者数
調査期間	4期: 平成27年4月～6月, 5期: 平成27年7月～9月, 6期: 平成27年10月～12月, 7期: 平成27年1月～3月	
値の解釈	より低い値が望ましい	

(参考) 当院詳細数値		1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
分子	入院中新規発生	6	7	10	7	4	6	7
	入院中他部位発生	0	0	2	0	0	0	0
分母	在院患者数	625	677	702	641	642	638	663

### (参考) フィードバックデータ



貴院	数値	平成26年		平成27年					平成28年		
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	7月～9月	10月～12月	
全病院	25パーセンタイル	0.010	0.010	0.017	0.011	0.006	0.013	0.011	0.004	0.006	0.005
	50パーセンタイル	0.004	0.006	0.007	0.005	0.005	0.006	0.005	0.010	0.013	0.011
	75パーセンタイル	0.010	0.012	0.013	0.011	0.010	0.013	0.011	0.024	0.020	0.020
600以上	25パーセンタイル	0.010	0.012	0.013	0.011	0.010	0.014	0.012	0.006	0.008	0.008
	50パーセンタイル	0.010	0.012	0.013	0.011	0.010	0.014	0.012	0.011	0.014	0.012
	75パーセンタイル	0.016	0.024	0.020	0.019	0.020	0.021	0.017	0.024	0.021	0.018
全病院	平均値	0.010	0.010	0.017	0.011	0.006	0.013	0.011	0.004	0.006	0.005
600以上	平均値	0.010	0.010	0.017	0.011	0.006	0.013	0.011	0.010	0.013	0.011
全病院	登録数	98	99	96	137	143	145	130	137	143	130
600以上	登録数	20	20	18	27	27	28	24	20	27	24

## 9 クリニカルパス使用率（分類：Process）

クリニカルパスとは良質な医療を効率的、かつ安全、適正に提供するための手段として、主な診療に先だって計画された診療計画表をいいます。類似の症例には同じクリニカルパスが適用され、効率的（=より短い在院日数で密度の高い医療・余分な検査や投薬を削減し医療費を抑える）で安全（=チーム医療における情報共有・リスクマネジメントに役立つ）な医療が提供されます。

クリニカルパスが適用されている割合は一定の質が保たれた医療を提供している目安といえます。まれな疾患や病状などではあらかじめ計画を立てることが出来ないためクリニカルパスを使用することは出来ません。

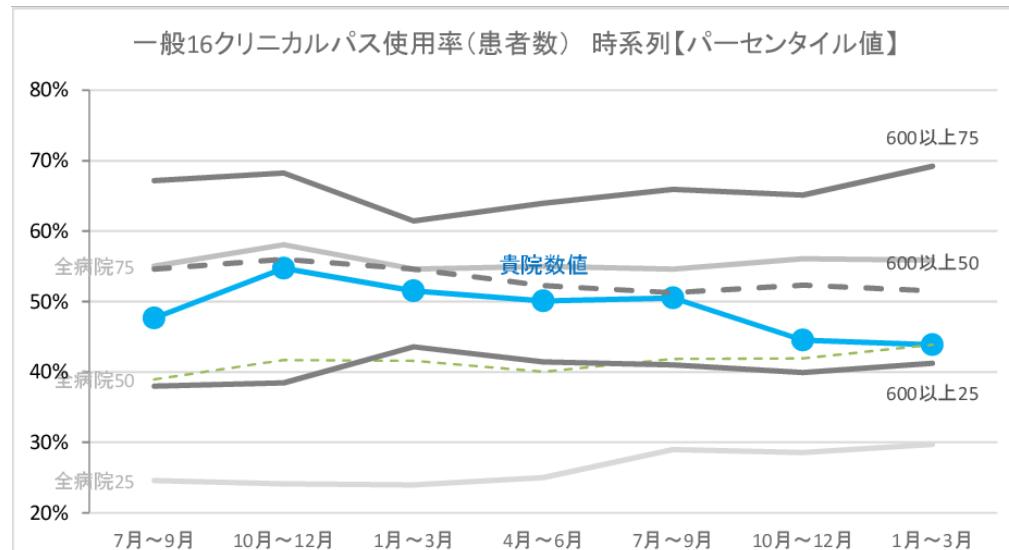
### 9 -1 クリニカルパス使用率（患者数）【16】

＜指標の定義＞

計算方法	分子：クリニカルパス新規適用患者数
	分母：新入院患者数
集計期間	4期：平成27年4月～6月、5期：平成27年7月～9月、6期：平成26年10月～12月、7期：平成27年1月～3月
値の解釈	より高い値が望ましい（複雑な治療が多い施設はこの限りではない）

(参考) 当院詳細数値		1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
分子	パス適用患者	2,240	2,556	2,538	2,454	2,551	2,116	2,172
分母	新入院患者	4,700	4,672	4,926	4,901	5,053	4,755	4,952

(参考) フィードバックデータ



	数値	平成26年				平成27年		平成28年			
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
貴院	47.7%	54.7%	51.5%	50.1%	50.5%	44.5%	43.9%				
全病院	25パーセンタイル	24.6%	24.1%	24.0%	25.0%	29.0%	28.5%	29.7%			
	50パーセンタイル	38.9%	41.7%	41.6%	40.0%	41.8%	41.9%	43.9%			
	75パーセンタイル	55.0%	58.1%	54.6%	55.0%	54.6%	56.1%	55.9%			
600以上	25パーセンタイル	38.0%	38.4%	43.6%	41.4%	41.0%	39.9%	41.2%			
	50パーセンタイル	54.6%	56.0%	54.6%	52.2%	51.2%	52.3%	51.5%			
	75パーセンタイル	67.2%	68.2%	61.4%	64.0%	65.9%	65.1%	69.2%			
全病院	平均値	39.8%	41.8%	41.0%	40.5%	41.5%	42.3%	44.2%			
600以上	平均値	53.8%	54.3%	54.9%	54.5%	53.3%	55.5%	55.9%			
全病院	登録数	101	100	101	144	141	142	131			
600以上	登録数	21	20	21	27	25	27	24			

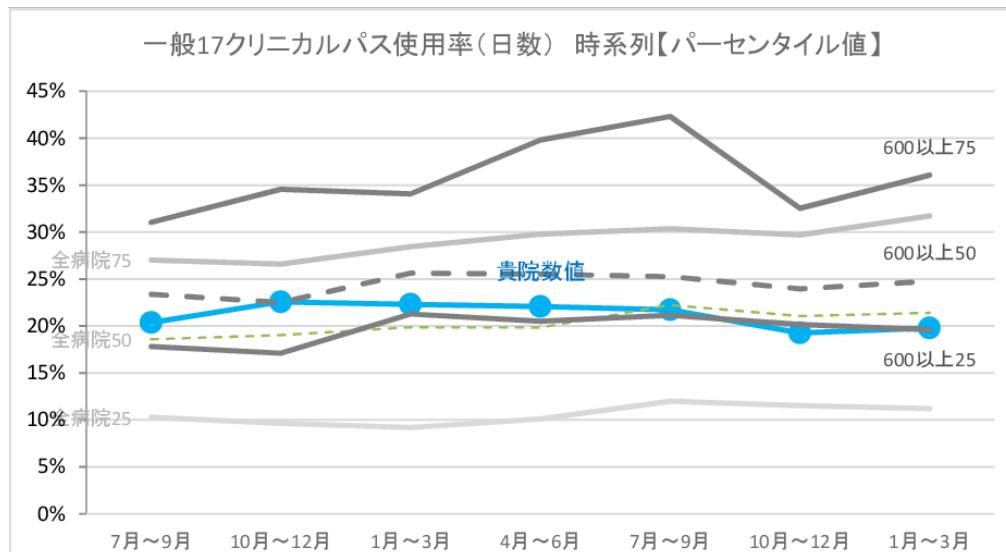
## 9 -2 クリニカルパス使用率(日数)【17】

<指標の定義>

計算方法	分子：クリニカルパス適用合計日数
	分母：入院延べ日数
集計期間	4期：平成27年4月～6月、5期：平成27年7月～9月、6期：平成26年10月～12月、7期：平成27年1月～3月
値の解釈	より高い値が望ましい（複雑な治療が多い施設はこの限りではない）

(参考) 当院詳細数値	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
分子 パス適用合計日数	13,048	14,727	14,681	14,267	14,007	12,335	12,946
分母 入院延べ日数	64,058	65,261	65,843	64,694	64,490	64,079	65,472

(参考) フィードバックデータ



貴院	数値	平成26年				平成27年				平成28年			
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月
全病院	25パーセンタイル	10.3%	9.6%	9.2%	10.1%	12.0%	11.5%	11.2%	11.8%	12.5%	12.0%	11.8%	12.5%
	50パーセンタイル	18.6%	19.0%	19.9%	19.8%	22.2%	21.0%	21.4%	21.8%	22.5%	22.0%	21.8%	22.5%
	75パーセンタイル	27.0%	26.6%	28.4%	29.8%	30.4%	29.7%	31.7%	32.5%	33.5%	32.0%	31.7%	33.5%
600以上	25パーセンタイル	17.8%	17.1%	21.3%	20.5%	21.1%	20.2%	19.6%	19.8%	20.5%	20.0%	19.6%	20.5%
	50パーセンタイル	23.4%	22.5%	25.6%	25.5%	25.3%	24.0%	24.8%	25.0%	25.8%	25.0%	24.8%	25.8%
	75パーセンタイル	31.0%	34.6%	34.1%	39.8%	42.3%	32.5%	36.1%	37.5%	38.5%	37.0%	36.1%	38.5%
全病院	平均値	19.7%	21.2%	21.0%	21.3%	22.3%	22.0%	22.3%	22.5%	23.2%	22.8%	22.3%	23.2%
600以上	平均値	26.8%	28.7%	29.0%	30.1%	30.5%	28.4%	28.6%	29.0%	30.0%	29.5%	28.6%	30.0%
全病院	登録数	85	88	88	125	123	125	113	120	128	125	113	120
600以上	登録数	18	20	20	26	26	26	24	28	28	26	24	28

## 10 肺血栓塞栓症の予防対策実施率【18】(分類: Process)

手術後における急性肺血栓塞栓症は、下肢あるいは骨盤内静脈の血栓が原因とされており、整形外科、消化器外科、産婦人科などの術後に安静臥床が長くなった患者では注意しなければならない術後合併症の一つです。

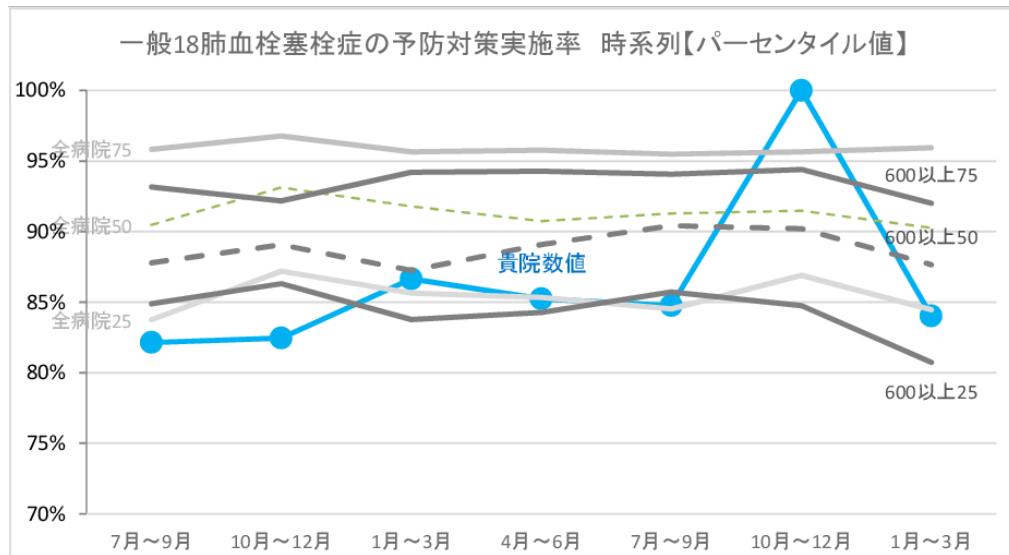
肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症の診断、治療、予防に関するガイドライン(2009年改訂版)では中リスク以上の場合には、リスク分類に応じて弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫法、抗凝固療法の単独あるいは併用の予防方法が推奨されています。

<指標の定義>

計算方法	分子 : 分母のうち肺血栓塞栓症の予防対策(弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫装置の利用、抗凝固療法のいずれか、または2つ以上)が実施された手術数
	分母 : 肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術数
集計期間	4期:平成27年4月~6月, 5期:平成27年7月~9月, 6期:平成26年10月~12月, 7期:平成27年1月~3月
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考) 当院詳細数値		1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
分子	予防対策実施数	763	714	733	727	756	812	762
分母	該当手術数	929	866	846	853	892	812	907

(参考) フィードバックデータ



貴院	数値	平成26年		平成27年					平成28年		
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	7月～9月	10月～12月	
全病院	25パーセンタイル	83.7%	87.2%	85.6%	85.3%	84.5%	86.9%	84.5%	86.2%	88.8%	88.4%
	50パーセンタイル	90.5%	93.1%	91.8%	90.7%	91.3%	91.5%	90.3%	87.9%	87.9%	85.9%
	75パーセンタイル	95.8%	96.8%	95.7%	95.8%	95.5%	95.7%	95.9%	94.1%	94.1%	92.0%
600以上	25パーセンタイル	84.9%	86.3%	83.8%	84.3%	85.7%	84.7%	80.7%	87.8%	89.1%	87.6%
	50パーセンタイル	87.8%	89.1%	87.2%	89.1%	90.4%	90.2%	87.6%	93.2%	92.2%	92.0%
	75パーセンタイル	93.2%	92.2%	94.2%	94.3%	94.1%	94.4%	92.0%	86.2%	88.0%	88.4%
全病院	平均値	86.2%	89.3%	88.0%	88.3%	88.3%	88.8%	88.4%	87.9%	87.9%	85.9%
600以上	平均値	87.9%	88.5%	86.9%	88.3%	88.2%	87.9%	85.9%	91.0%	91.0%	88.4%
全病院	登録数	86	84	85	124	125	127	110	127	127	110
600以上	登録数	20	19	20	27	27	27	23	27	27	23

## 1.1 脳梗塞入院1週間以内のリハビリ強度【19】(分類: Process)

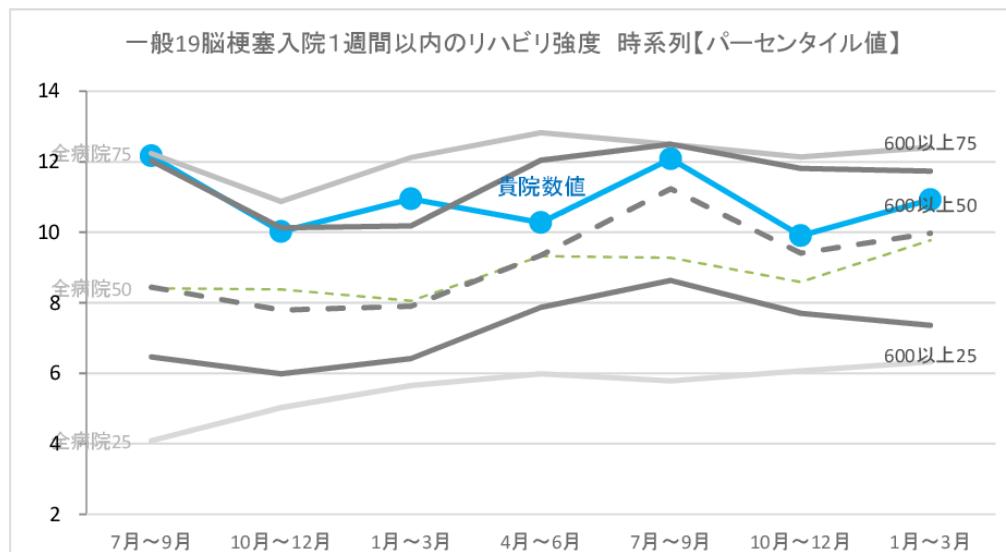
脳卒中患者では早期にリハビリテーションを開始することで、機能予後をよくし、再発リスクの増加もみられず、ADL の退院時到達レベルを犠牲にせずに入院期間が短縮されることが分かっています。わが国の脳卒中治療ガイドライン 2009 では、「廃用症候群を予防し、早期の ADL 向上と社会復帰を図るために、十分なリスク管理のもとにできるだけ発症後早期から積極的なリハビリテーションを行うことが強く勧められている（グレード A）」と書かれています。したがって、適応のある患者には早期からリハビリテーションが開始されていることが望されます。

<指標の定義>

計算方法	分子 : 分母のうち、入院7日目までのリハビリテーション施行単位合計
	分母 : 1週間以上入院した急性期脳梗塞症例数
集計期間	4期：平成27年4月～6月、5期：平成27年7月～9月、6期：平成26年10月～12月、7期：平成27年1月～3月
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考) 当院詳細数値		1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
分子	川施行単位合計	888	681	1,040	873	773	901	1,289
分母	該当症例数	73	68	95	85	64	91	118

(参考) フィードバックデータ



貴院	数値	平成26年		平成27年				平成28年	
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
全病院	25パーセンタイル	4.1	5.0	5.6	6.0	5.8	6.1	6.3	
	50パーセンタイル	8.4	8.4	8.1	9.3	9.3	8.6	9.8	
	75パーセンタイル	12.2	10.9	12.1	12.8	12.5	12.1	12.4	
600以上	25パーセンタイル	6.5	6.0	6.4	7.9	8.6	7.7	7.4	
	50パーセンタイル	8.4	7.8	7.9	9.3	11.2	9.4	10.0	
	75パーセンタイル	12.0	10.1	10.2	12.0	12.5	11.8	11.7	
全病院	平均値	9.1	8.5	9.5	10.0	9.5	13.1	9.8	
600以上	平均値	9.4	8.3	10.1	10.1	11.0	9.8	9.9	
全病院	登録数	87	87	87	121	124	124	112	
600以上	登録数	22	20	21	26	27	26	22	

## 12 急性期心筋梗塞 14 日以内院内死亡率【20】(分類: Outcome)

急性心筋梗塞は心臓の筋肉に血液が流れなくなる状態をいいます。発症から救急搬送までの時間により来院時既に重傷になっていることがあります。この重傷度を表す Killip 分類を利用して補正をかけています。

<Killip 分類による調整>

	院内死亡数	院内症例数	粗死亡率	全国症例数	補正
Class1	D1	N1	D1/N1	TN1	(D1/N1)*TN1
Class2	D2	N2	D2/N2	TN2	(D2/N2)*TN2
Class3	D3	N3	D3/N3	TN3	(D3/N3)*TN3
Class4	D4	N4	D4/N4	TN4	(D4/N4)*TN4
合 計				S	E

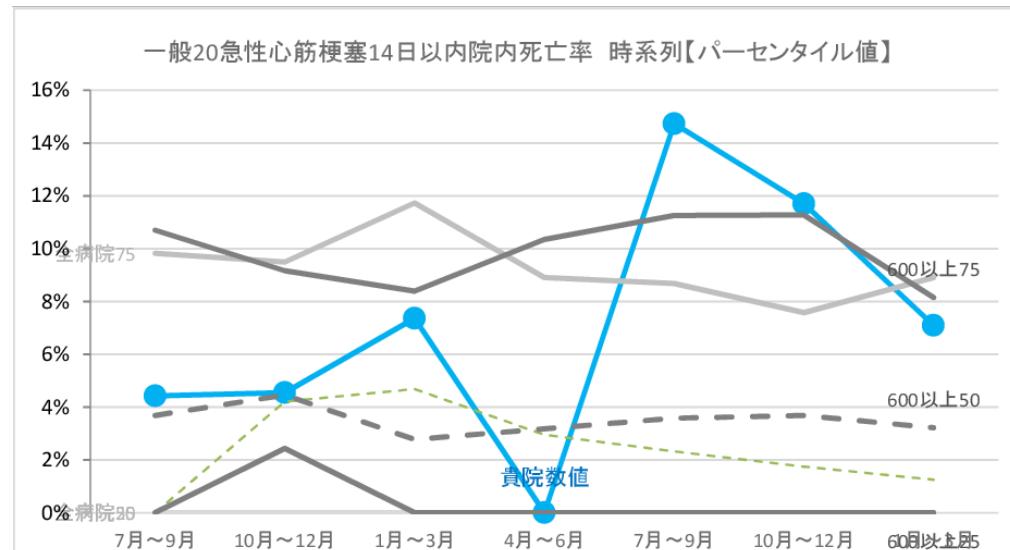
リスク調整死亡率 = E / S

<指標の定義>

計算方法 (E / S)	D : Nのうち、14日以内に死亡した患者数
	N : 入院契機病名と最資源病名が急性心筋梗塞の入院数
集計期間	4期：平成27年4月～6月、5期：平成27年7月～9月、6期：平成27年10月～12月、7期：平成27年1月～3月
値の解釈	より低い値が望ましい

(参考) 当院詳細数値	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
Class1 (D1 / N1)	0 / 1	1 / 1	0 / 3	0 / 3	0 / 2	0 / 2	0 / 1
Class2 (D2 / N2)	0 / 1	1 / 10	0 / 12	0 / 4	0 / 9	0 / 11	0 / 2
Class3 (D3 / N3)	0 / 5	1 / 4	0 / 4	0 / 3	0 / 2	1 / 4	0 / 6
Class4 (D4 / N4)	3 / 10	0 / 6	3 / 6	0 / 0	2 / 2	2 / 3	1 / 3

(参考) フィードバックデータ



貴院	数値	平成26年			平成27年			平成28年		
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月
全病院	25パーセンタイル	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50パーセンタイル	0.0%	4.2%	4.7%	2.9%	2.3%	1.7%	1.3%	3.2%	3.7%
	75パーセンタイル	9.8%	9.5%	11.7%	8.9%	8.7%	7.6%	8.9%	10.4%	11.3%
600以上	25パーセンタイル	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50パーセンタイル	3.7%	4.5%	2.8%	3.2%	3.6%	3.7%	3.2%	3.7%	3.7%
	75パーセンタイル	10.7%	9.2%	8.4%	10.4%	11.3%	11.3%	8.1%	11.3%	11.3%
全病院	平均値	5.4%	6.5%	6.7%	5.8%	5.6%	5.5%	4.8%	5.6%	5.5%
600以上	平均値	5.9%	6.0%	5.7%	6.8%	7.2%	5.6%	4.7%	6.8%	6.7%
全病院	登録数	82	75	80	115	111	112	101	115	113
600以上	登録数	22	21	22	28	28	27	24	28	27

### 13 ステージⅠ乳がん患者の乳房温存率【21】(分類: Process)

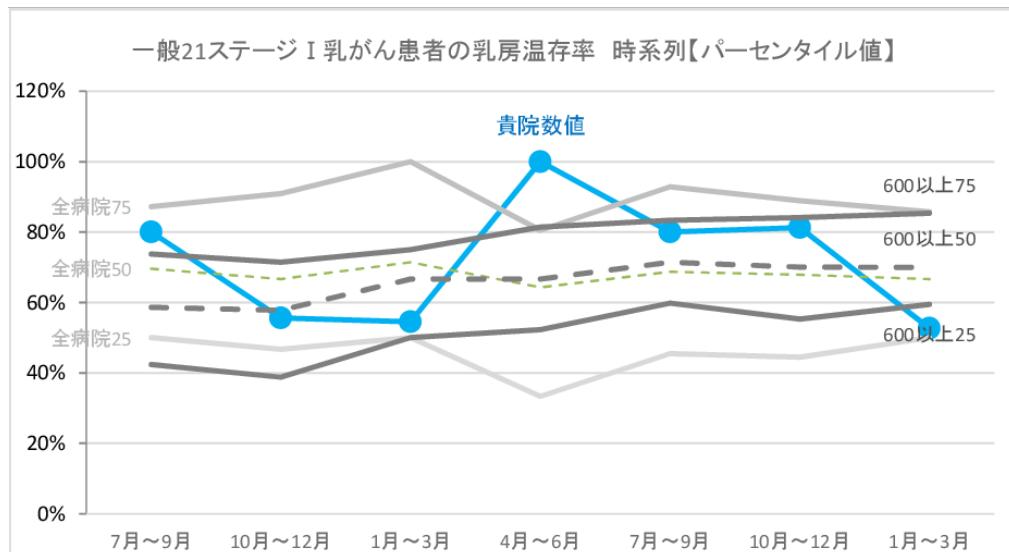
ステージⅠの乳がんとは、がんの大きさが2cm以内で腋下のリンパ節に転移していない場合をいいます。乳房温存手術はがんの大きさ、部位、皮膚の状態、術後に放射線治療ができるか否か（他の疾患の影響はあるか）により施行可能な場合とそうでない場合があります。

＜指標の定義＞

計算方法	分子： 分母のうち、乳房温存手術実施件数
	分母： 乳がんステージⅠの手術実施件数
集計期間	4期：平成27年4月～6月、5期：平成27年7月～9月、6期：平成26年10月～12月、7期：平成27年1月～3月
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考) 当院詳細数値	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
分子 乳房温存手術	8	5	6	6	8	13	10
分母 該当手術数	10	9	11	6	10	16	19

(参考) フィードバックデータ



貴院	数値	平成26年			平成27年				平成28年		
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
全病院	80.0%	55.6%	54.5%	100.0%	80.0%	81.3%	52.6%				
	25パーセンタイル	50.0%	46.7%	50.0%	33.3%	45.5%	44.4%	50.0%			
	50パーセンタイル	69.6%	66.7%	71.4%	64.3%	68.8%	67.9%	66.7%			
600以上	75パーセンタイル	87.2%	90.9%	100.0%	80.5%	92.9%	88.9%	85.7%			
	25パーセンタイル	42.4%	38.8%	50.0%	52.3%	59.8%	55.3%	59.5%			
	50パーセンタイル	58.6%	57.8%	66.7%	66.7%	71.4%	70.1%	70.0%			
全病院	75パーセンタイル	73.8%	71.4%	75.0%	81.4%	83.3%	84.1%	85.3%			
	平均値	66.0%	64.3%	64.8%	56.8%	63.0%	64.4%	62.2%			
	600以上 平均値	57.6%	54.6%	60.6%	67.1%	70.9%	66.6%	72.1%			
全病院	登録数	76	77	73	99	105	106	91			
	600以上 登録数	22	20	21	27	28	28	24			

## 14 大腿骨地域連携パス使用率【22】(分類: Process)

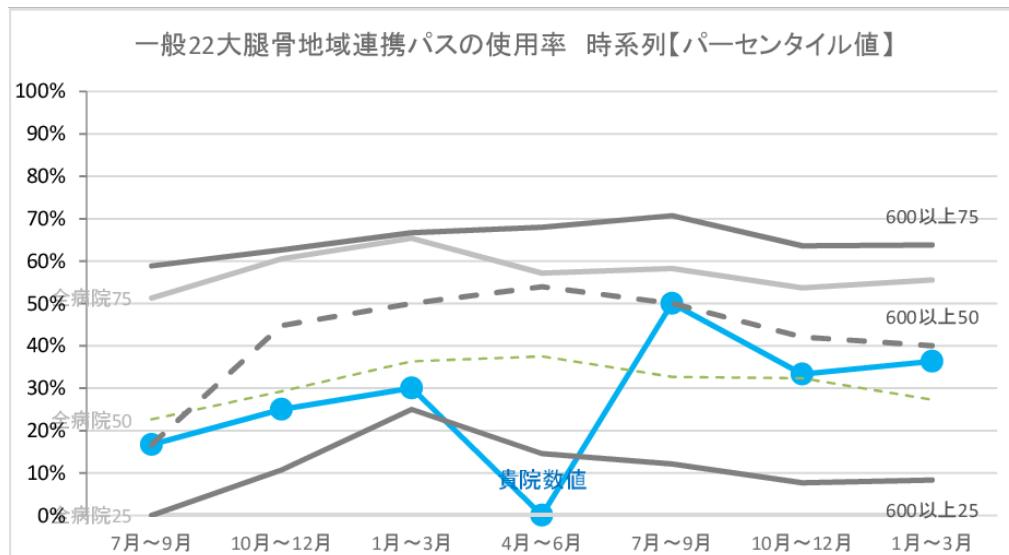
脚の付け根（大腿骨頸部）の骨折などでは手術後にリハビリテーションを行うため専門病院等に転院することがあります。手術を行う病院と受け入れを行う病院があらかじめ計画を共有した上で個々の患者さんの診療計画を作成することを地域連携パスといいます。

<指標の定義>

計算方法	分子： 分母のうち、地域連携診療計画管理料が算定された症例数
	分母： 大腿骨頸部骨折（大腿骨頸部骨折骨接合術・大腿骨頸部骨折人工骨頭置換術等を実施）退院症例数
集計期間	4期：平成27年4月～6月、5期：平成27年7月～9月、6期：平成26年10月～12月、7期：平成27年1月～3月
値の解釈	より高い値が望ましい

(参考) 当院詳細数値		1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
分子	算定症例数	1	2	3	0	2	2	4
分母	該当症例数	6	8	10	6	4	6	11

(参考) フィードバックデータ



責任	数値	平成26年			平成27年			平成28年		
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月
全病院	25パーセンタイル	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50パーセンタイル	22.6%	29.3%	36.4%	37.5%	32.7%	32.4%	27.3%	32.4%	32.4%
	75パーセンタイル	51.3%	60.5%	65.4%	57.1%	58.2%	53.6%	55.6%	57.1%	58.2%
600以上	25パーセンタイル	0.0%	10.7%	25.0%	14.6%	12.1%	7.7%	8.3%	14.6%	12.1%
	50パーセンタイル	16.7%	44.8%	50.0%	53.9%	50.0%	42.1%	40.0%	53.9%	50.0%
	75パーセンタイル	58.9%	62.6%	66.7%	68.0%	70.7%	63.6%	63.8%	68.0%	70.7%
全病院	平均値	29.0%	35.6%	37.4%	32.0%	33.5%	31.4%	29.5%	32.0%	33.5%
600以上	平均値	29.4%	39.8%	42.3%	44.2%	44.0%	40.0%	39.4%	42.3%	44.0%
全病院	登録数	80	84	82	115	114	116	101	115	114
600以上	登録数	20	20	21	26	27	27	24	26	27